

リーダーとしてのグアム派遣

中野 智貴（中学3年）

“Hafa Adai!”

私は今回のグアム派遣に、派遣生のリーダーとして参加しました。私はリーダーとして行動できるか不安でしたが、他の九人の仲間が自分のことを支えてくれたおかげで最後まで問題なく過ごすことができました。このことから私は、リーダーとは一人でやるものではなく、みんなで助け合ってできるものだという事に気づきました。これは私の将来にとって生きる出来事でした。

私は、成田空港で不安な気持ちを抱えながら出発しました。ですが空港に着くと、カウンターパートの Steven が笑顔で私を迎えてくれました。私はその時とてもうれしかったです。Steven の家に着くまでに Steven や彼のお母さんと明日からのことについて話し、仲良くなることができました。フリーデーでは、ビーチに行きジェットスキーにのりました。初めての体験でしたが、顔にかかってくる水が気持ちよく、最高でした。また、午後にプールに行き、そこで遊びながら Steven と将来の夢などについて話しました。このことで Steven と仲を深めることができました。

私は三日目の月曜日に、ハイキングに行きました。私はそこで長いグアムの歴史について学び、グアムの人々が自分たちの歴史をととても大事にする人たちだということを感じました。グアムには「チャモロ料理」という伝統的な料理があり、その中で私が食べた料理が「チキンカラグエン」という料理でした。それは、チキンと野菜の和え物で、主に前菜として食べるものでした。チャモロ料理はとてもおいしく次回グアムに行くときは、別の種類も食べてみようと考えています。

五日目には、セントフランシス校で、チャモロ料理をみんなで楽しむ機会がありました。その時にはダンスを踊ったりして、とても楽しかったです。

そして、ついに最終日。私はとても寂しい気持ちになっていました。一週間で私はグアムのことが大好きになっていました。本当はずっとグアムに残っていたかったです。私は一週間お世話になった Steven の家族にお別れをして、グアムを飛び立ちました。グアムは私に自分が知らなかった景色や感じたことのなかった気持ちを教えてくれました。私は今、グアムに行ったことで、自分は大きく成長したと考えています。

